

地域の公民館として、どのような活動や取り組みを企画・運営していったら良いかと、日々検討しているとヒントになる言葉がやっと見つかりました。それは「住民活動のカキクケコ」というフレーズです。

毎日の生活や住民活動の中に、これは凄いなどが素晴らしいなどの「力：感動」があれば、人はそのことに「キ：共感」が芽生えます。すると次第にそのことに喜びや感銘を感じた人が集まり心地よい「ク：空間 (= 地域の居場所)」が生まれます。そして、集う人たちは次第に学び合い・助け合いという「ケ：経験」を生かしていろいろな事を始めます。そして、いつしかそこには自治が形成され、持続的な「コ：行動」に変わります。

これが「住民活動のカキクケコ」です。各種の講座やサークル活動、講演会、研修会等を企画運営するのが地域に根差した公民館の役割です。

そこで、今年度の中央公民館のキャッチフレーズは、見つけよう『出会い・ふれあい・地域の宝』と題して、身近に隠れている地域人材や地域の伝統工芸・文化財等に焦点を当てていくことにしました。
(文責 館長 渡辺)



1. 各地区公民館への出前講座

○8月28日(水) 船津地区公民館講座「船津の歴史」

『物流・交流の拠点 船津のあゆみ』(座学)

講師 杉本悠樹 氏 (町・生涯学習課文化財担当)

参加した皆さんは、縄文時代から現在に至るまでの長〜い歴史の中で船津地区に起こった歴史的な出来事(特に富士山噴火との関係)やそれに関する遺跡や史跡について、講師の杉本さんから丁寧に分かり易い説明及び提示された資料を熱心に視聴していました。



感想・意見

- ・現在居住している船津地区のことが良く理解できて、大変参考になりました。
- ・大変興味深い内容で勉強になり、地元のことを知る上で欠かせない講座だと思いました。
- ・船津について詳細に教えて頂き、知らなかった歴史が幾つか解けて良かった。

○9月28日（土） 船津地区公民館講座「船津の歴史散歩」

『物流・交流の拠点 船津のあゆみ』（現地視察）

講師 杉本悠樹 氏（町・生涯学習課文化財担当）

8月28日（水）の講座の続編として、参加した皆さんは、座学で学習した内容を実際に現地に赴き、自分の足で歩き、自分の目で確かめ、そして船津地区に起こった歴史の痕跡をしっかりと確認していました。

そして、「世界遺産・富士山」の形成との深い結びつきや船津地区の地形の特色、地区内に点在する寺社仏閣の成り立ち及びその重要性等を現地視察でしっかりと確認しながら、船津地区の歴史のあゆみを感じ取っていました。



旧役場前で日程説明を受ける風景



船津小の石垣と山神様の説明を聞く

感想・意見

- ・まず驚いたことは、身近な場所に富士山の溶岩流があったことや普段目にする寺社仏閣が名所旧跡であったことに驚きました。
- ・河口湖の水位が古今で大きな違いがあることに驚きました。
- ・船津地区が太古より重要拠点であったことに驚きました。

2. ロビー作品展示

○10月7日～10月18日 「町立図書館50周年記念」イベントの資料展示

町立図書館の創立50周年を記念して、積重ねてきた歴史や開催された各種のイベント、図書館の説明等、「半世紀のあゆみ」を記録写真や説明文等が添えられて展示されています。是非、この機会に図書館や中央公民館に来ていただきたいと思います。



完成当時の中央公民館

3. 中央公民館の歴史

富士河口湖町立中央公民館は、旧河口湖町の中央公民館及びYLO会館（老若男女が集う場所の意）として、昭和49年2月25日に完成し、今年でなんと開館して半世紀の50周年を迎えました。現在でも多くの町民の皆様にご利用・活用されています。これからも末永く利用される地域の『公民館』であるために、1人でも多くの皆様に来館して欲しいと思います。

（詳しくは、町広報の10月号に記載）